

令和4年度
国有林野等所在市町村長有志協議会
(福島県中通りブロック)



～木材の安定供給に向けた取組～



令和4年10月31日(月)
林野庁 関東森林管理局



2021年の木材不足・価格高騰の状況

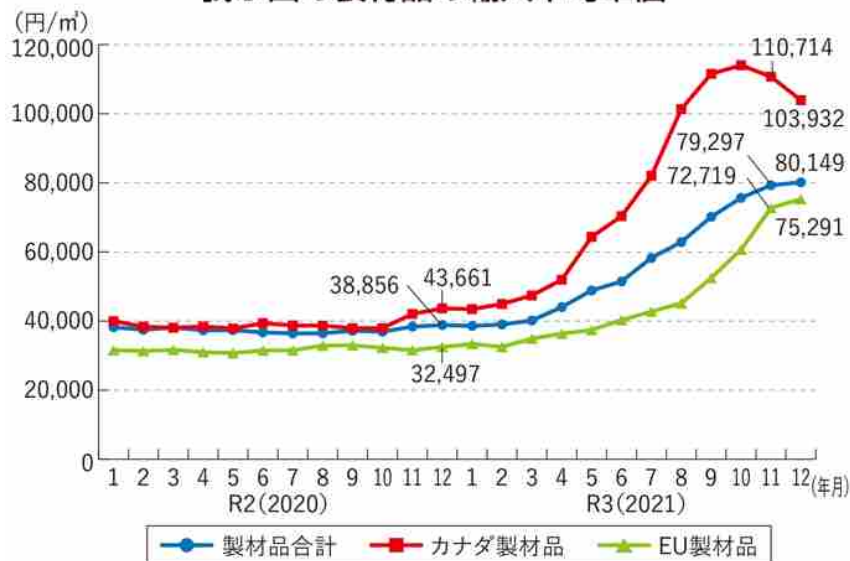
【木材輸入の動向】

- 米国では、2020年5月以降、在宅勤務の増加等により住宅着工戸数が急増し、2021年に北米の製材価格は過去最高を記録。また、コンテナの海上輸送運賃は、2020年末から急上昇。
- 米国や欧州における需要の高まりや海上輸送の混乱等により、我が国の製材品輸入量は、2021年前半まで前年を下回り、その後、徐々に回復。
- 製材品の輸入平均単価は、産地価格と海上運賃の上昇を受け、大幅に上昇。

【製材品・合板出荷量、木材価格の動向】

- 住宅需要が回復する中、輸入木材の代替としての国産材の需要が高まり、2021年3月の製材品出荷量はコロナ禍前の水準まで回復したものの、旺盛な需要には十分対応できず価格が上昇。
- 合板出荷量は、2021年3月以降はコロナ禍前の水準まで回復。住宅を中心に旺盛な需要が続いたことから、製品在庫量は減少傾向で推移し、価格は上昇。
- 製品価格の上昇に伴い、原木価格も上昇。

我が国の製材品の輸入平均単価



資料：財務省「貿易統計」

製材品・集成材・合板価格の推移



- 注1：スギ・ヒノキ正角は、10.5cm角、長さ3.0m。
 注2：ホワイトウッド集成管柱(1等)は、10.5cm角、長さ2.98～3.0m。1本を0.033075m³に換算して算出。
 注3：針葉樹合板は、厚さ1.2cm、幅91cm、長さ1.82m。
 資料：農林水産省「木材需給報告書」

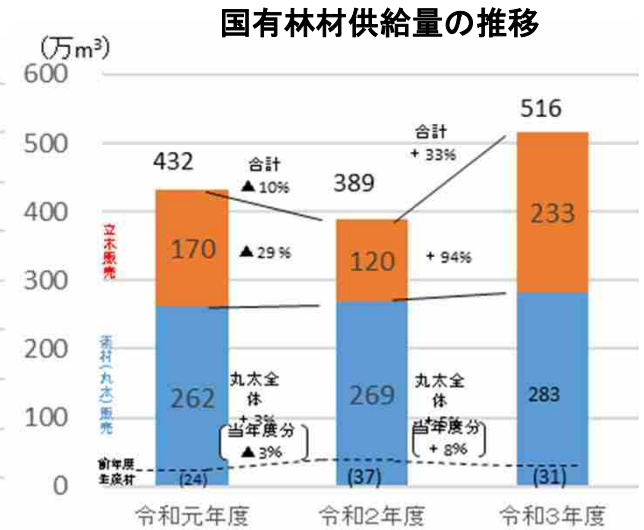
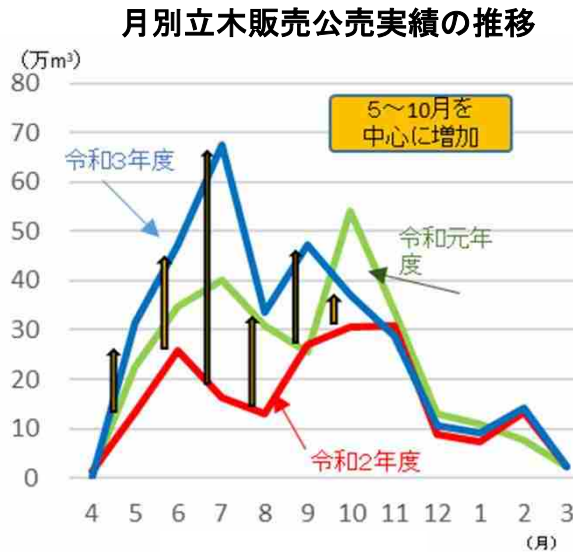
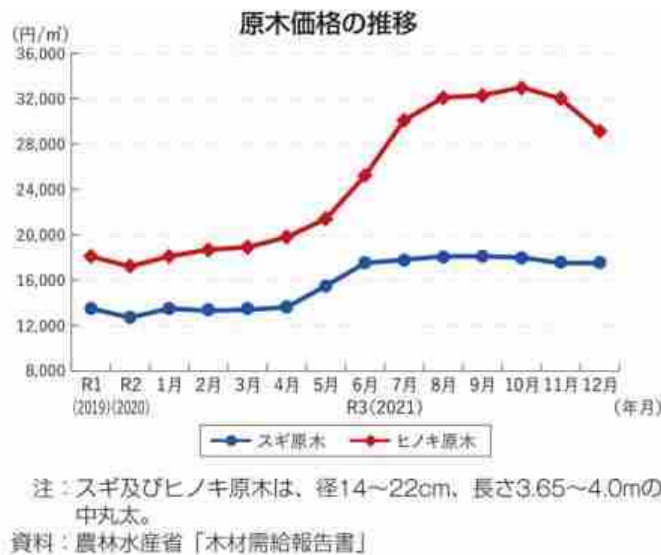
国産材に係る輸入材からの転換と安定供給に向けた取組

【安定供給に向けた取組】

- 緊急の対応として、2021年4月以降、中央及び地区別で需給情報連絡協議会を3巡にわたって開催し、川上から川下までの関係者による需給情報の共有を行うとともに国産材製品への転換事例を周知
- 中長期的には、川上から川下までの連携強化や製材工場等の供給力の向上など、国産材の安定供給・安定需要の確保が必要。2021年度の補正予算により、木材製品の供給力強化に向けた乾燥施設の整備や、原木の安定供給に向けた間伐・路網整備等を支援

【国有林における対応】

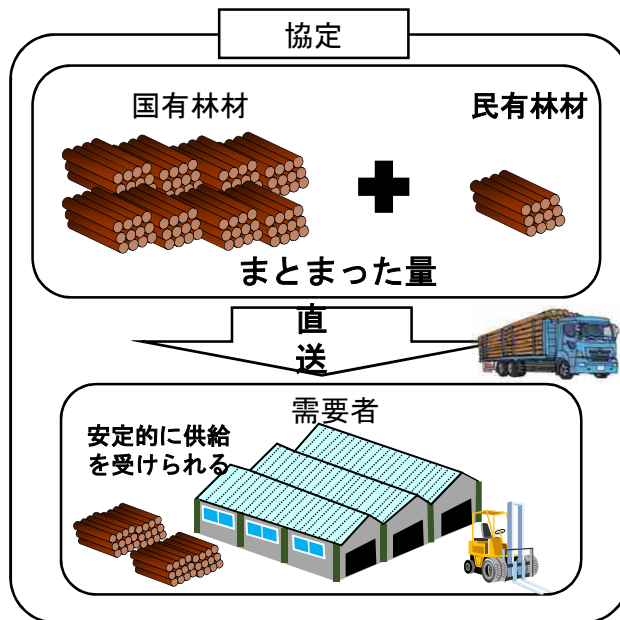
- 国有林野事業では、地域の木材需給状況が急激に変化した場合に供給調整機能を発揮するよう努めており、令和3年度は、国有林材供給調整検討委員会の意見等も踏まえ、立木販売物件の前倒し販売、素材生産請負事業の早期発注、生産した丸太の早期販売等を実施。



国有林における安定供給に向けた取組

民有林と国有林が連携した安定供給システム販売

- 令和4年度も引き続き、国有林と連携して木材の販売を行う民有林関係者等を広く募集し、「民有林と国有林が連携した安定供給システム販売」を管内各地で実施。
- 民有林と国有林の協調出荷により、民有林関係者等は新たな販売先の確保や安定した収入の確保が期待。



【国有林との協調出荷を実施した民有林関係者のメリット】



国有林材の供給調整の取組

- 国有林では、国有林材供給調整検討委員会を設置し、本委員会の意見を踏まえた木材供給。
- 令和3年度は、ウッドショックによる原木不足に対応するため立木販売時期を前倒しし、早期の木材供給を実施。
- 令和4年度も、需給動向を注視し、必要に応じて木材供給調整を的確に実施。



供給調整の必要性についての検討
(国有林材供給調整検討委員会)

木材流通の動向

- 原木の安定供給体制構築に向け、製材・合板工場等が森林組合連合会、素材生産業者等との協定締結により、年間を通じて安定的に調達する取組も見られる。
- このような中、山土場や中間土場等から製材・合板工場等への直送が増加。このうち、原木市売市場のコーディネートにより、直接製材工場に出荷する直送が2.1倍に増加。
- 川中の木材市場や製材工場等が原木を安定的に確保するため林業に参入するなど、林産複合経営の動きも広がりつつある（秋田プライウッド等）。
- 大工技能者が減少する中、木造軸組み工法におけるプレカット率は年々上昇。製材工場からの木材製品の出荷先として、プレカット率の上昇に伴い建築業者の割合が減少し、プレカット工場の割合が増加傾向。また、集成材工場等のその他工場への出荷割合も増加。
- 木材市売市場、木材販売は事業所数が減少する一方で原木入荷量は増加、プレカット工場も工場数に増減はあるものの、1工場当たりの材料入荷量は増加傾向。

素材生産業者から製材工場等への直送量の推移



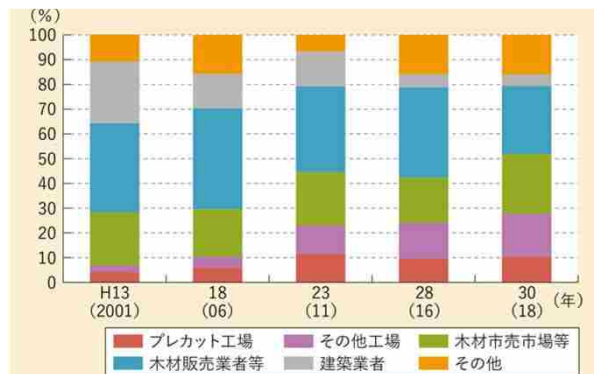
注1：「原木市売市場」は、木材市売市場の値。木材市売市場から製材・合板工場(競り売り以外)については、平成28(2016)年から調査項目に追加。
 2：木材チップ工場及びLVL工場については、平成23(2011)年より調査対象に追加。
 資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

木造軸組工法におけるプレカット率の推移



資料：一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ。

製材品の出荷先別の割合の推移



注1：製材工場からの出荷量における割合。
 2：「木材市売市場等」は木材市売市場及び木材センター。「木材販売業者等」は木材販売業者及び総合商社。